

人権作文



矢ヶ部小学校6年
大淵 琉希さん

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

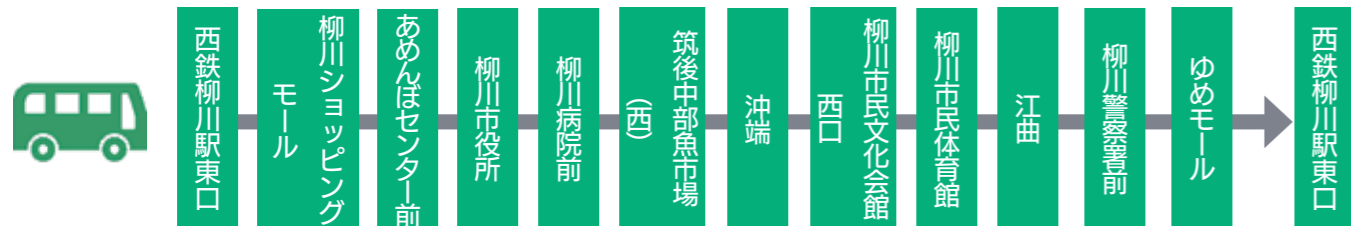
苦手を認めること

ぼくたちの学校では、月に1回、みんなが互いのことを知り、仲良くなるために、縦割り班で活動する「ちかべっ子タイム」があります。7月は、「同和問題啓発強調月間」に合わせて、オンラインによる全校での人権学習がありました。担当の先生が読んでくださった「すぎなこと」がてなこと」という本での学習を通して、ぼくが思ったことが二つあります。

一つ目は、だれにでも好きなこと、苦手なことがあるということです。ぼくは、算数が苦手です。今まで、算数が苦手なことがだめなことなんだと

考えていました。そして、苦手なことがある自分を恥ずかしいと思っていました。しかし、この本には、だれにでも好きなこと、苦手なことがあって当たり前であるといったことが書かれています。苦手なことを恥ずかしいと考えず、だれにでもあるものだと前向きに考えていきたいです。

【先生からのひと言】
人権学習を通して、「苦手がある」ことを前向きに捉えることができましたね。これからさまざまな人と出会うと思います。互いを認め合い、つながりを大切にしながら、支え合う大切さを広げていきたいですね。



市街循環線スタート

10月1日、市コミュニティバスの市街循環線の出発式がありました。「市街循環線」は西鉄柳川駅東口や沖端など市街地を巡る循環ルートです。1回100円で誰でも乗車できます。また、1000円で12枚つづりのお得な回数券を販売。コミバス車内か市企画課で購入できます。

CONTENTS	ページ
第49回衆議院議員総選挙ほか	2-3
お知らせ掲示板	4-7
人権・同和教育シリーズ	8